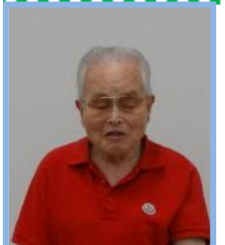


山科「人づくり」ネットワーク

薬大との連携講座

発行：平成26年9月
山科区「人づくり」
ネットワーク実行委員会
TEL 251-0470



スタッフにお礼のあいさつをされる小川相談役

今年も山科区「人づくり」ネットワーク実行委員会は、8月24日、京都薬科大学との連携事業である「身近な夏の不思議体験2014 in 山科」を開催いたしました。

今回も夏休み前に参加募集しましたところ239名の申込みがございました。当日は、113名の児童と43名の保護者の参加があり、大学の本格的な実験教室で大学の先生のわかりやすく丁寧な指導のもと多くのスタッフの支援を受けながら楽しく実験を進めることができました。

薬科大学の教職員の方々をはじめスタッフとしてお世話いただきました山科区「人づくり」の皆様方、本当にありがとうございました。以下、アンケートに記入いただいた児童や保護者の方々の感想を紹介いたします。

- ①イクラであってイクラでない？
～人工イクラを作ってみよう！～
- ②水をすう不思議な「こな」の実験
～芳香剤も作ってみよう！～



薬科大学の教職員の方々



進行と実験の説明をされた高尾先生

Q. 参加しようと思ったわけは？

(児童の皆さん)

- ◇理科の実験が好きだから。
- ◇自由研究に役立つそうだったから。
- ◇薬科大学をめざしているから。
- ◇学校からのプリントでおもしろそうだったから。
- ◇勉強にもなるし、前に参加して楽しかったの。
- (保護者の皆さん)
- ◆理科の楽しさを知ってほしいから。
- ◆一度参加して楽しかったので、下の子にも参加させたかったから。



開会にあたっての挨拶や司会、実験の説明・進行をしていただいた山科区『人づくり』ネットワーク実行委員や京都薬科大学の先生方

Q. 今回参加して、理科に興味を持ちましたか？

(児童の皆さん)

- Q. 理科に興味がありましたか？
- ・あまり興味ない 4%
- ・好きでも嫌いでもない 46%
- ・もともと得意な科目 42%
- Q. 人工イクラを知っていましたか？
- ・知っていた 26%
- ・知らなかった 74%
- Q. おむつの仕組みを知っていましたか？
- ・知っていた 19%
- ・知らなかった 77%
- Q. 今回参加して、理科に興味を持ちましたか？
- ・ますます興味をもった 60%
- ・理科が好きになった 34%

理科にあまり関心がなかった子どもたちが、今回の実験教室で興味を持ったり、好きになってくれたりしてくれました。スタッフ一同なによりもうれしいことです。



本格的な大学の実験教室で白衣を着ながら真剣に話を聞く児童

Q. 実験についての説明はわかりやすかったですか？

(児童の皆さん)

- ・よくわかった 81%
- ・だいたいわかった 16%
- ◇人工イクラでアルギンサンがカルシウムの入った水にふれた瞬間固体にかわるのがびっくりした。
- ◇「なぜそうなるのか」をスクリーンで見たのでよくわかった。
- ◇紙おむつの中にある粉がとてもふくらんでびっくりした。
- (保護者の皆さん)
- ◆スライドと説明でとても分かりやすかった。
- ◆先生の言葉や声、表現がとてもよわからでよかった。



水溶液の中に人工イクラが・・・



写真を使って実験の説明を




京都はぐくみ憲章

おむつを振って高吸水性ポリマーを取り出そう！

スタッフから支援を受けながら実験を進める児童

Q. 他にどんな実験がしてみたいですか？

(児童の皆さん)

◇身近にある、例えば鉛筆などの仕組み

◇動物や植物の生態

◇食べ物やレプリカを作りたい。

◇雷の仕組み

◇物の変化や色の変化をしてみたい。

(保護者の皆さん)

◆人体に関わる薬のこと。将来研究者になる子もいると思うので。

◆化学変化を楽しめる学校ではできないようなもの。

◆年に一度ではなく、可能であれば半年に一度、月に一度と回数を増やしてほしい。

Q. 「身近な夏の不思議体験」に参加して良かったですか。

(児童の皆さん)

・とてもよかったです 89%

・だいたいよかったです 8%

◇理科はあまり得意ではなかったけれど今日の実験はすごく面白くて勉強になった。

◇良い経験になり、将来にも役立つと思う。

◇初めて大学に来てどんなところかよくわかった。

(保護者の皆さん)

◆家庭ではできないことなので、このような場があるのはうれしく思う。

◆大学の実験室という素晴らしい環境で、理科に触られたことは貴重な体験であったと思う。

◆できれば7月後半に実施してほしい。




めがねをかけて、ゴム手袋をはめて、さあ、次の実験開始！



説明を聞いた後真剣なまなざしで実験を行う児童



どうなったかな？しっかりと観察を

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「子ども共育の京都市民憲章」を实践しましょう！

京都はぐくみ憲章

準備

7月10日に参加者決定の抽選会を行いました。



6月9日予備実験をして薬科大学の先生と実験内容の打合せをしました。



当日朝のスタッフミーティング